



CS オール丹那

函南町立丹那小学校
令和5年5月発行

令和5年度 第1回 CSオール丹那会議開催

5月17日(水)18:00より本校ランチルームにて、CSオール丹那会議を開催しました。新たに4名の委員を迎え活発な話し合いが行われました。校長から学校経営方針・小規模特認校制度について、教務主任から教育課程や学校評価、今後の行事予定等について説明させていただきました。



令和5年度 CSオール丹那会議委員 (◎は、新規委員) ※敬称略

役職・肩書	お名前	役職・肩書	お名前
CS 会長・長光寺住職	柿沼 忍昭	R5 畑区長	◎高橋 孝一
CS 副会長・R2PTA 会長	仲川 裕樹	丹那幼稚園園長	◎富岡 明子
R5PTA 会長	◎大塚 佳央	元 PTA 会長・野菜作り講師	神尾 尚宏
R4PTA 会長	中野 俊幸	丹那駐在所員	石津川龍也
R4 丹那区長	溝田 正吾	地域学校協働活動推進委員	山田 正彦
R4 丹那地区区長会長・畑区長	岩城 隆徳	校長	土屋 貴俊
読み聞かせ・クラブ講師	西村 知世	教頭	杉崎ことみ
R5 丹那区長	◎足立 保男	教務主任	下山 祐二

【CS (コミュニティ・スクール) とは?】

学校運営協議会を設置した学校のことです。学校と地域が連携・協働し、当事者意識をもって子供たちの成長を支えていく学校づくりを進めていくことをねらいとしています。

【学校運営協議会とは?】

学校の教育目標・ビジョンを共有するとともに、法律(地方教育行政の組織及び運営に関する法律第47条の5)に基づき一定の権限と責任を有する合議制の機関です。保護者・地域の声を学校運営に生かし、「地域とともにある学校づくり」の核となる組織です。

【どんな権限があるの?】

- ・校長が作成する学校運営の基本方針を承認します。
- ・学校運営について、校長または教育委員会に意見を述べるすることができます。

【どんな責任があるの?】

- ・地域の住民・在籍する児童生徒・保護者その他関係者に学校運営の方針を理解していただくために、積極的に情報を提供するよう努めます。

【話し合いで話題になった事項】

1 丹那小学校児童のあいさつについて

- ・自分の子供には毎日地域の方も含めてあいさつをするよう伝えている。家でも息子に「おはよう」と言うと返ってくる。今後も続けていきたい。
- ・朝の登校指導では 50～60m 先から元気なあいさつが毎日聞こえてくる。横断歩道を歩いてくる子供の中には、あいさつが聞こえてこない子供もいるが、マスク越しに口は動いているように見える。声の大きさは違うが、無視をする子供はいない。
- ・相手より先にすることで積極性も生まれるのではないかと。丹那小の子供たちは登校中黙って歩いている。学校は友達と話をしないように指導しているのか？まっすぐに一列になって歩いてきているので話せないのかもしれないが。
- ・あいさつは、自然に身につくものである。最初は「しなさい」と言われ、できるようになってからあいさつのよさや大切さが分かるのではないかと。

2 主体性を育てる取組について

- ・丹那の地元企業へメンマ作りの話を聞きにいった子供は、なぜそのことに興味をもったのかを知りたい。興味をもつことから主体性が生まれるのではないかと。
- ・職場の中でも言われないとできない指示待ちの若者が増えてきている。なぜできないのか、なぜ大切なのかを考えることはできる。指導者が道標を示し見通しをもたせると、自分から取り組めるようになるのではないかと。
- ・自分も教員だが小さな学校に勤務していたときに、6年生になると誰もが流暢に話したり説明したりできるようになっていた。小さな学校には一人一人が主役になるチャンスがたくさんある。それを生かしていけば主体性も自ずと生まれてくる。
- ・丹那小の子供たちは、協調性はあるのかな。主体性と協調性は対極にあるもの。外国の生活では、協調することよりも主体性が大切にされている。これからの時代は、自分の意見が言えて、自分の意志で動けるように子供を育てていきたい。

3 その他連絡事項

① 150周年記念事業について

- ・日程 10月13日（金）PM 実施 音楽のちからコンサートは決定
- ・出席者は、子供・保護者・地域住民・CS 委員・区関係者・卒業生・町関係者
- ・児童の地域学習の発表の機会とする。
- ・思い出の写真をスライドショーにするために地域から写真を集めたい。
- ・卒業生や地域住民の出席を呼びかけるために、区長会で依頼していく。

② プロモーションビデオの視聴および公開について

- ・昨年度の入学式から卒業式までの教育活動をプロのクリエイターに撮影していただいた。学校のことだけでなく丹那の四季の移り変わりが表現されていて、素晴らしい。
- ・丹那のよい宣伝になるので YouTube 等で広く発信したらどうか。
- ・今後は、学校や役場のホームページに YouTube（限定公開）の URL のリンクを貼ったり、役場正面のスクリーンで流してもらったりする予定になっている。
- ・撮影前に保護者から撮影許可をもらった児童しか映っていないが、誰もが視聴できる一般公開の YouTube で配信すると、SNS 配信に積極的な学校であると思われる。